



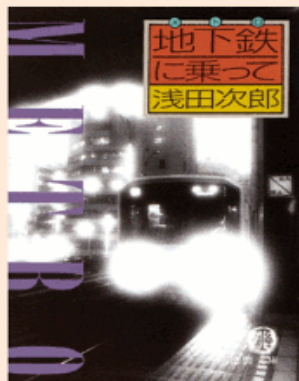
# 図書館員が選ぶ この一冊

23

## 『地下鉄に乗って』徳間書店

浅田次郎／著

営業マンの真次は、事故で来ない地下鉄を諦め、永田町の階段を上った。すると、そこは、オリンピック開催に沸く昭和39年の東京、しかも、大切な兄を父のせいで亡くした夜だった。その日を境に何度もタイムスリップを体験し、



傲慢な父の若き日に出会い、生活に触れ、聞かされていなかった意外な過去を知ることになる。

真次が目にした戦前・戦中・戦後の描写からは、当時の東京の様子が映像のように読者の頭の中に入り込む。地下鉄のホームに漂う生暖かい風と、不思議な力に導かれた禁断の時空越えによって衝撃的なラストが待ち受ける。